

『年報編集委員会よりお願ひ』

一、年報第二十一集への自由応募は研究会大会当日受けつけます。
御希望の方は題目、レジュメ（大会発表のものは不要）を明記し
て編集委員または事務局にて御申出下さい。

二、年報第二十集は次の内容にて刊行が進められております。（敬称
略）

〔共通課題報告〕

一、磯辺俊彦「農政と村落」

二、不破和彦「地域農政と村落」

三、高橋明善・柄沢行雄「自治体・農協政策と村落」
〔自由論題〕

一、長谷部弘「幕藩制支配とムラ」

二、浅野慎一「農民層の出稼きと家族・村落社会の再編過程」

◎ 松本通晴「近畿村落の変動と村落研究の諸系譜」

〔研究動向〕○経済学（東敏雄）○社会学（白井宏明）

○史学・経済史学（岡光夫）

以上の如く充実した内容ですので、書店から予約案内があるか
もれませんが、出来るだけ多数の会員が早目に御予約願うか、
大会当日でも是非お求め戴きたいと思ふます。

（編集委・安原記）